

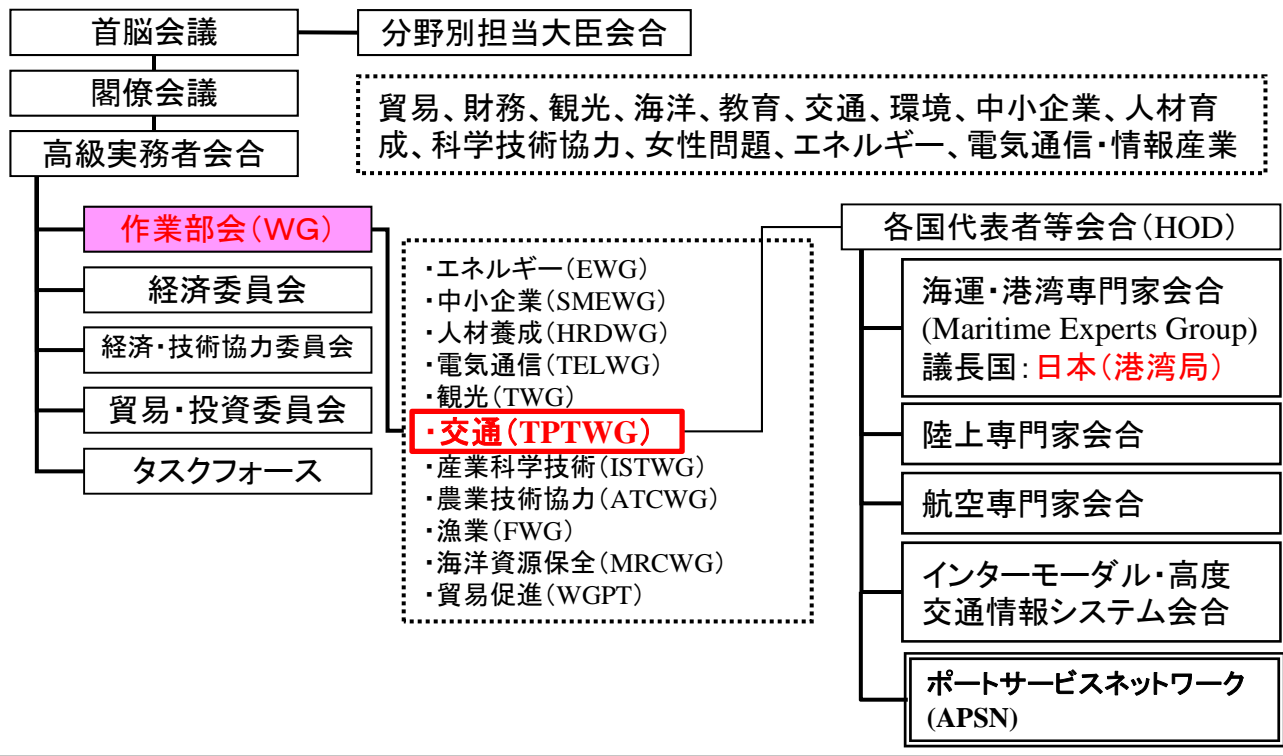
APEC交通ワーキンググループ

(参考資料)

APECの活動の柱

- 貿易・投資の自由化(関税、非関税障壁、サービス、投資等における障壁の撤廃)
- 貿易・投資の円滑化(貿易データベースの整備、基準の整合化、手続きの調和、電子化推進)
- 経済・技術協力(域内の発展の格差の縮小と障害の除去)

組織概要



APEC参加国・地域

豪州、ブルネイ、カナダ、チリ、中国、香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、ロシア、シンガポール、台湾、タイ、米
国、ベトナム、(計21カ国・地域)

交通(TPTWG)最近の開催実績

- 第3回1992年12月東京
- 第18回2000年10月宮崎
- 第27回2006年5月ハノイ
- 第28回2006年9月バンクーバー
- 第29回2007年7月台北
- 第30回2008年4月マニラ
- 第31回2008年8月リマ
- 第32回2009年7月シンガポール
- 第33回2010年10月東京
- 第34回2011年6月ブリスベン
- 第35回2012年2月バンコク
- 第36回2012年8月 Санктペテルブルク

交通(TPTWG)

○設立の経緯: 1991年、APEC域内の交通システムの効率性と安全性を高めることを目的に設立

○活動概要: 運輸分野で、貿易の円滑化及び域内の格差縮小のための重要なイニシアティブやプロジェクトを、民間関係者と密接に協力しつつ実施

港湾・海事専門家会合(MEG)

○活動の柱: ①海上運送部門におけるボゴール目標に向けた努力、②APEC地域における海上運送効率の改善に向けた努力、③海上安全の確保に向けた努力、④海洋環境保護に向けた努力、⑤APEC域内の海事保安の強化に向けた努力、⑥能力強化に向けた努力